マルチプロジェクト印刷設定(矩形ポリゴン連続印刷版)

1 枚の図面に複数のプロジェクトを印刷する場合、整飾プロジェクトに該当プロジェクトをはめ込む設定を行うことで、連続 印刷も可能となります。

例として、A3 横(420mm×297mm)の紙に整飾と二つのプロジェクトを当てはめた印刷設定を行います。

A3 横(420*297) 1/1000の図面設定



■印刷イメージ



画面①:①旧台帳図.pcm 画面②:②台帳図.pcm 画面③:整飾.pcm 1.プロジェクトの設定

2 つのプロジェクトを一つの整飾に当てはめて印刷する場合、印刷対象プロジェクトの他に、矩形印刷範囲指定用のメッ シュポリゴンプロジェクト、整飾プロジェクトと合わせて、合計 4 つのプロジェクトを作成します。

サンプルデータを利用して、矩形印刷範囲指定用のメッシュポリゴンプロジェクトを作成・設定します。

■サンプルデータ

| ファイル名 | プロジェクト名 | 備考 | 座標系 | 縮尺 |
|-----------|---------|------------------|---------|--------|
| ①旧台帳図.pcm | 旧台帳図 | p.1①の枠に表示する地図データ | 平面直角座標系 | 1/2500 |
| ②台帳図.pcm | 台帳図 | p.1②の枠に表示する地図データ | 平面直角座標系 | 1/2500 |

■作成するデータ

| ファイル名 | プロジェクト名 | 備考 | 座標系 | 縮尺 |
|----------|---------|----------------------|---------|--------|
| メッシュ.pcm | 2 画面印刷 | [矩形ポリゴン連続印刷]を実行するための | 平面直角座標系 | 1/2500 |
| | | 矩形ポリゴン(メッシュ)を設定したデータ | | |

[矩形ポリゴン連続印刷]メニューを実行するための「メッシュ」データのプロジェクトを作成します。

「2 画面印刷」プロジェクトの1メッシュのサイズは、出力枠(p.1の①枠)と同じサイズで作成します。

| ←170mm→ | | |
|-------------|-----------------|-----------------------|
| | ∱ 256mm ↓ | |
| | | ● ● ● ● ● |

1 メッシュの大きさが印刷時に 170mm×256mm のメッシュプロジェクトを 作成します。

1. 「①旧台帳図.pcm」を開きます。

[印刷]-[ウィンドウズプリンター印刷設定]メニューを実行し、印刷サイズの設定を行います。 [ウィンドウズプリンター出力設定-1]は、何も設定せずに【次へ】ボタンをクリックします。 [ウィンドウズプリンター出力設定-2]は、「いいえ、整飾機能は使いません]を選択し、【次へ】ボタンをクリックします。 [ウィンドウズプリンター出力設定-3]で、縮尺とサイズを以下のように設定し、【次へ】ボタンをクリックします。

| ウィンドウズプリンター出力設定-3 | × ■縮尺:1/2500 |
|---|--------------------|
| 最後に、印刷する縮尺、印刷サイズ、印刷するデータ領域の設定を行います 現在のから | ■印刷サイズ:横 170、縦 256 |
| 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 」 「 」 」 「 」 」 「 」 」 「 」 」 」 「 」 」 」 」 「 」 」 」 」 」 」 こ の の 」 、 」 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 | |
| | |
| データ印刷可能最大サイズ 199.81 286.76 mm | |
| データ全域が出力されるように縮尺調整(A) | |
| データ全域が出力されるようにサイズ調整(Z) | |
| プリンターの印字領域いっぱいに出力(P) | |
| | |

2. [ウィンドウズプリンター出力設定-4]で、「データ領域の中央に配置する」を選択し、【完了】ボタンをクリックします。



3. 設定したサイズの印刷枠が表示されます。



4. [印刷]-[印刷枠のメッシュポリゴン生成]を実行します。

「表示されている全レイヤーの存在範囲」を選択して【OK】ボタンをクリックすると、データ領域を印刷枠サイズでメッシュ化した「@PrintMesh」レイヤーが作成されます。

「@PrintMesh」レイヤーを新規プロジェクトに移動させて、**矩形印刷範囲指定用のメッシュポリゴンプロジェクト**を作成 します。

[印刷]-[ウィンドウズプリンター印刷モード]で、印刷モードを解除します。



5. [ファイル]-[新規作成]-[プロジェクト]を実行します。プロジェクト名を「2 画面印刷」※とし、【追加】ボタン-[現在の プロジェクトから]-[旧台帳図]-[@PrineMesh]を選択します。※プロジェクトのタイトルが印刷時のタイトルになります。

| 🏰 プロジェクトエキスパート (プロジ | 171-28) | | × |
|--|-----------------------------|---|-----------------|
| ししていたい しんしょう しんしょ しんしょ | プロジェクト名(<u>N)</u> | | Ö |
| ▲ あいていていたい。 ▲ 描画パラメーター | 2回回印刷 レイヤ-検索(<u>F</u>) | | |
| ▲ 環境-1 ▲ 環境-2 | <u>「</u> 」 プロジェクト-28 | | 追加(<u>A</u>) |
| ■■ 属性データベース | -]@PrintMesh | E | 解释余(<u>B</u>) |

- 6. 出来上がったプロジェクトを、「メッシュ.pcm」として保存します(ここでの名前はなんでも構いません)。 「①旧台帳図.pcm」の「@PrintMesh」レイヤーはプロジェクトから登録解除し、上書き保存します。
- 7. 「2 画面印刷」プロジェクトのメッシュポリゴンに対して、印刷用(p.1 の隣接図郭に表示する番号)の内部属性を設定 します。[レイヤーエキスパート]-[ポリゴン]パネルで、「メッシュ ID」フィールドの名称を「図葉番号」フィールドに変更 します。

※実際のデータでは、正しい図葉番号等を入力してください。

8. [印刷]- [矩形ポリゴン隣接情報転記]を実行して、8の情報を隣接ポリゴンにも設定します。

※8、9の設定は、p.13の「整飾プロジェクトの差込 DB をこのポリゴンの内部属性 DB と置き換える」で利用します。

| 矩形ポリゴン隣接情報 | 転記 | | × |
|---------------|----------|---|--------------|
| 転記するフィールド | [1] 図葉番号 | ~ | 🖌 ОК |
| 224m-101-45 A | | | ↑ キャンセル |
| 1進択ホリコン() | しめ対象 | | 🕘 1.7(H)</td |
| | | | |
| | | | |

9. 「2 画面印刷」プロジェクトに同時に印刷する 2 つのプロジェクトを「表示領域連動プロジェクト」として登録します。すでに開いている「①旧台帳図.pcm」に追加して、「②台帳図.pcm」を開きます。

「2 画面印刷」プロジェクトをアクティブにして、[設定]-[表示領域連動プロジェクトの設定]メニューを実行します。 「このプロジェクトに連動させるプロジェクト」の全てのプロジェクトにチェックを入れて、【OK】ボタンをクリックします。

| 表示領域連動プロジェクト設定 | × |
|----------------------|----------------|
| このプロジェクトに連動させるプロジェクト | |
| | 🖌 ОК |
| | 1 ++>2U |
| | |
| | |
| | |
| | |
| このプロジェクトが連動するプロジェクト | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |

10.「2 画面印刷」プロジェクトの作成・設定が終了しましたので、プロジェクトは上書き保存して閉じます。

2.整飾プロジェクトの設定

整飾プロジェクトを作成し、2 画面印刷用の設定を行います。

■作成するデータ

| ファイル名 | プロジェクト名 | 備考 | 座標系 | 縮尺 |
|--------|---------|-------------|---------|--------|
| 整飾.pcm | 整飾 | 整飾プロジェクトデータ | ペーパー座標系 | 1/1000 |

整飾プロジェクトには以下の3つのレイヤーを用意します。

■作成するレイヤー

| レイヤー名 | 用途・説明 |
|-------|-----------------------------------|
| 整飾 | 前景レイヤーとして保存する。1つ目の印刷枠と同じ図郭にする |
| @旧台帳図 | 1 つ目の印刷枠(左側)。レイヤー名の先頭に「@」(半角)を付ける |
| @台帳図 | 2つ目の印刷枠(右側)。レイヤー名の先頭に「@」(半角)を付ける |

1.整飾プロジェクトの作成

- 1. [ファイル]-[システムツール]-[プロジェクト]-[整飾プロジェクト作成]メニューを実行し、下記のように設定し【OK】ボタン
 - をクリックして、整飾プロジェクトを作成します。

| 整飾プロジェクトの生 | 上成 | | | | × |
|------------|-----------|-----------|-------------------------|------------------|---------------------|
| この整飾プロジェク | トのタイトル | 整飾 | | 想定縮尺 | 🖌 ок 🛛 |
| 実データ領域(内 | 図郭サイズ) 幅 | 344 | 高さ 256 🔲 (mm) | 1 / 1000 | ↑ キャンセル |
| ☑内図郭 | | □四隅座標 | 2mm MS UI Gothic | マージン 0.5 🔝 (mi | n) |
| □ 外図郭 | | 内図郭からの間隔 | 10 🔳 (mm) 🗌 2重線 🖡 | 1775 2 🔲 (mm) | |
| ☑Ջイトル | 1 0mm MS | UI Gothic | %TITLE% | | |
| 🗌 図葉番号等 | 1 0mm MS | UI Gothic | | 上左 ~ オフセ | ット 0 🔳 (mm) |
| 🗌 図葉番号等 | 1 0mm MS | UI Gothic | | 上右 ~ オフセ | (mm) (mm) |
| 🗌 図葉番号等 | 1 0mm MS | UI Gothic | | 下左 ~ オフセ | (mm) (mm) |
| 🗌 🛛 葉番号等 | 1 0mm MS | UI Gothic | | 下右 ~ オフセ | '୬ト 0 🔳 (mm) |
| ☑ 縮尺表記 | 1 0mm MS | UI Gothic | %CURRENT_SCALE% | | 1.5mm MS LIL Gothic |
| □ スケールバー | | | | □グリッド線 | |
| ✓隣接図郭表記 | 2 1幅 15 📰 | 高さ 15 📰 | (mm) 3.5mm MS UI Gothic | | 3mm MS UI Gothic |
| ☑ 方位記号 | | | | 間隔 | 100 🔳 (mm) |
| 🗌 凡例 | 凡例ブロジェクト | | | >> | |
| 凡例2 | 凡例プロジェクト | | | <u> </u> | |
| □ その他 | 5mm MS | UI Gothic | | 左上 ~ オ거 | 2ット 0 💼 (mm) |
| 🗌 その他 | 5mm MS | UI Gothic | | 左下 ~ オプ | 2ット 0 📄 (mm) |
| その他 | 5mm MS | UI Gothic | | 右下 ~ オ거 | 2ット 0 💼 (mm) |
| 🗌 整飾図郭 | | 外図郭からの間 | 隔 左 15 📻 上 15 📻 を | 50 📻 下 15.7 📻 (n | nm) |
| 断栽線 | タイプ1 🔨 | 外図郭からの間 | 隔 左 35 📄 上 35 📄 右 | 5 85 📑 F 35 🔳 (r | nm) |
| プレビュー | >> | | Y | 設定保存(S) 📄 | 設定読み込み(」)_ |

■この整飾プロジェクトのタイトル:整飾

■実データ領域(内図郭サイズ):344x256(2 つの地図すべてが入る紙サイズ p.1 赤枠)

■想定縮尺:1/1000

■内図郭:ON

■四隅座標:OFF

■タイトル:ON、ここでは、MSUIゴシック 高さ10mmを設定。「%TITLE%」を設定。

■縮尺表記:ON、ここでは、MSUI ゴシック 高さ 10mm を設定。「%CURRENT_SCALE%」を設定。

■隣接図郭表記:ON、幅 15、高さ 15 ここでは、MSUI ゴシック高さ 3.5mm を設定

■方位記号:ON

ヒント集:【整飾プロジェクト】作成方法(メニューによる場合)

https://www.mapcom.co.jp/support/hint/print/hint13.htm

 出来上がった整飾プロジェクトの、タイトル位置・縮尺表示位置([作図]-[ポイント処理])、方位記号位置([表示]-[背景ピクチャーの移動・拡大・縮小])を調整します。

※整飾プロジェクトは[ウィンドウズプリンターの出力設定]で、「用紙に対する印刷位置:指定なし(左上よせ)」の設定 で印刷できるよう位置の調整を行う必要があります。→p.14 で設定します。



3. 「整飾」レイヤーの図郭を変更します。

[レイヤーエキスパート]-[ようこそ]パネルの【座標系情報・変更】、ボタンで、[ペーパー座標系の設定]ダイアログ ボックスを表示し、P.5の表「作成するレイヤー」のレイヤーの「用途・説明」に合うように設定を変更します。 用途・説明:「整飾」レイヤー:前景レイヤーとして保存する。1つめの印刷枠と同じ図郭にする

| 🎎 レイヤーエキスパート (整飾 |) | | |
|---|--|---|--|
| 🔊 \$327 | レイヤー 整約 | | |
| イ アーク ノード ア ポリゴン | | | |
| ボイント メッシュ イメージ キーリスト シリープロパティ | 臣僚系 | | |
| 一 特殊なレイヤー | | ペーパー座標系の設定 | × |
| <u>,</u> ж | 旧尺が 1 / 0 / は上 1 / 0 / 以下で表示 このレイヤーの「原位付け置み」 (省世界の頃高や賞生録会とての漫売原在を決定します) 0 ✓ □ (営世界の頃高や賞生録会とての漫売原在を決定します) 0 ✓ □ (営世界小師事の書の時間、何分的にしが表示されない文字列を発表示にする) □ 国生協会対象外((前景待) / 2/4ック属性語会対象外(前景待) □ / 4/9/属性語会対象外(前景待) | 紙面サイズ(P) 幅 170 高さ 256 (mm) ブリンター情報から >> (mm) 縮尺(S) 1 / 1000 原点座標(Q) 0 (mm) (mm) | ✓ OK へ キャンセル ④ ヘルプ(出) ○ 参照 ◆ ○ → |
| | » ок <u>п</u> жерець о лид | ▶ 高度な設定 | 4 |

- ■紙面サイズ:幅 170×高さ 256(1 ページ目の緑枠一つ分の大きさ)
- ■縮尺:1/1000

■原点座標:0,0



- 4. 「旧台帳図」、「台帳図」レイヤーの印刷枠を p.5 の用途に従って作成します。
 - 「@旧台帳図」レイヤーを作成します。[プロジェクトエキスパート]を開き、「レイヤー」パネルの【追加】ボタンで、 [新規レイヤー作成]を実行します。

レイヤー名を「@旧台帳図」と設定し、【次へ】ボタンをクリックします。

② このレイヤーは、「整飾」レイヤーと同じ設定を行います。【設定】ボタンをクリックします。

| ペーパー座標系の設定 | × |
|----------------------------------|-----------------|
| 紙面サイズ(P) | V OK |
| 幅 170 高さ 256 (mm) _ ブリンター情報から >> | n ++>UUI |
| 縮尺(<u>S</u>) | 0 ANJ(H) |
| 1 / 1000 | 0、参照 |
| 原点座標(Q) 0 (m) | |
| ▶ 高度な設定 | 4 |

このままの設定で【OK】ボタンをクリックし、[新規レイヤー設定-2]の【完了】ボタンをクリックして、「旧台帳図」 レイヤーの作成を終了します。



③ 「@台帳図」レイヤーを作成します。上記①と同様に新規レイヤーを作成します。紙面サイズは②と同じで、原点 座標は「0,174」とします。



(ここでは、4 つの地図すべて入る紙サイズの左下を原点 0 として、170mm+余白 4mm=174)



※原点座標はm単位なので、縮尺が1/1000でない場合は、原点座標の計算が必要です。

例:1/2500 で、原点の値を 131mm とする場合

(125mm+6mm)×縮尺 2500÷1000mm=327.5m、で「327.5,0」とします。

④「@台帳図」レイヤーの作成を終了すると、以下のようになります。
 「整飾」レイヤーの内図郭アーク線は必要ないので、削除します。



「整飾」レイヤーを前景に設定して[ファイル]-[名前を付けて保存]メニューを実行します(名称例:整飾.pcm)。

5. マルチプロジェクト印刷の場合「整飾」プロジェクトに対し「キーリスト」での余白の設定が必要になります。

[プロジェクトエキスパート]-[キーリスト]を開き、以下の設定を行います。

ここでの設定は、p.1 の配置の通り、地図印刷範囲(赤枠)から左余白 10mm(MarginX0:10)、上余白 30mm (MarginY1:30)という設定を行っています。



| / | | | | |
|---|----------|----------|----------|----------|
| + | MarginX0 | MarginY0 | MarginX1 | MarginY1 |
| 値 | 10 | 30 | 66 | 11 |
| | | | | |

余白設定のキーは、以下を参照してください。



2.整飾プロジェクトの設定

「1.整飾プロジェクトの作成」で作成した2つの印刷枠(「@旧台帳図」レイヤー、「@台帳図」レイヤー)にどのプロジェクト を当てはめるかを設定します。

1. 「整飾」プロジェクトに対し[印刷]-[整飾プロジェクトプレビュー]-[整飾プロジェクト印刷プレビュー設定]メニューを 実行し、プレビュー設定を行います。このメニューでは最大4種類のプロジェクトまで登録できます。



- 印刷プレビューモード:ON
- 縮尺をセット:ON、1/1000
- 対象とするプロジェクト(主):2 画面印刷(メッシュ.pcm)
 メッシュポリゴンのプロジェクトを指定(開いている必要があります)
 - 対応する図郭レイヤー(前景レイヤー):「整飾」レイヤー
 整飾プロジェクトの前景レイヤーを指定
- 対象とするプロジェクト 1:旧台帳図

整飾プロジェクトの「@旧台帳図」レイヤーの枠に当てはめるプロジェクトを指定(開いている必要があります)

- 対応する図郭レイヤー:「@旧台帳図」レイヤー
 整飾プロジェクト上の印刷位置レイヤーを指定
- 対象とするプロジェクト 2:台帳図 整飾プロジェクトの「@台帳図」レイヤーの枠に当てはめるプロジェクトを指定(開いている必要があります)
 - 対応する図郭レイヤー:「@台帳図」レイヤー
 整飾プロジェクト上の印刷位置レイヤーを指定

🞍 整飾プロジェクトと、印刷位置の関係について

整飾プロジェクトの「@」がついたレイヤーの図郭が「対象とするプロジェクト」で選択されたプロジェクトを印刷 する位置になります。番号によって位置が決まるのではなく、「対応する図郭レイヤー」に設定された位置に 「対象とするプロジェクト」で設定されたプロジェクトを印刷します。ただし、矩形の範囲は「対象とするプロ ジェクト(主)」の「前景レイヤー」サイズに依存します。



2. 【OK】ボタンで[整飾プロジェクトでの印刷プレビュー設定]ダイアログボックスを閉じます。

指定したプロジェクトがそれぞれの枠に当てはめてプレビューされます。[表示モード]で、ポイント位置やノード形状 を非表示にしておくといいでしょう。



この状態で整飾プロジェクトを保存し、閉じます。

▲ 各プロジェクトの縮尺について

縮尺の指定方法は以下の3通りが選択できます。

- 同縮尺連動:「縮尺をセット」で指定した縮尺と同じ縮尺で出力します。
- 縮尺連動:「縮尺をセット」で指定した縮尺との比率で出力します。
 - ▶ 例:1:2 とした場合、「縮尺をセット」の値が 1/1000 の場合は 1/2000 で出力されます。
- 縮尺固定:対象とするプロジェクトの印刷縮尺を「1:□」に設定した値で出力します。
 - ▶ 例:1:2500 とした場合 1:2500 で出力されます。

| | | | - |
|------------------------|-------------|--------------------|--|
| ☑ 印刷プレビューモード | ☑縮尺をセット 1 / | 1000 | OK へ キャンセル |
| | | | 😨 ヘルプ |
| -印刷対象とするプロジェクト | | 整飾プロジェクト | |
| 対象とするプロジェクト(主) | | 対応する図郭レイヤー(前景レイヤー) | |
| 2画面印刷 | ~ | 📶 整飾 | - |
| 対象とするプロジェクト1 | | 対応する図郭レイヤー | |
| 旧台帳図 縮尺連動 ~ | 1: 2 | 📕 @旧台帳図 | |
| 村象 1 縮尺連動 対象 1 縮尺運動 | | 対応する図郭レイヤー | |
| | 1: 2500 | 📕 @台帳図 | • |
| 対象とするプロジェクト3 | | 対応する図郭レイヤー | |
| 同縮尺連動 ~ | ✓ 1: 0 | 📕 @旧台帳図 | • |
| 対象とするブロジェクト4 | | 対応する図郭レイヤー | |
| 同縮尺連動 ~ | 1: 0 | 📕 @旧台帳図 | • |

4 整飾プロジェクトの各図面に対する縮尺表示について

整飾プロジェクトに縮尺表記の予約語を付与すると、各図面の縮尺設定をそれぞれ表示できます。 縮尺表記の予約語により、p.11「各プロジェクトの縮尺について」で設定した内容を確認できます。

| 予約語 | 意味 |
|-----------------------|-------------|
| %SCALEDenomi% | 前景レイヤーの縮尺分母 |
| %CURRENT_SCALEDenomi% | 印刷時の縮尺分母 |

それぞれ%SCALEDenomiN%、%CURRENT_SCALEDenomiN%と、プロジェクト番号を指定することで、 異なる画面の縮尺を表記できます。ここで、Nは、「対象とするプロジェクト 1」~「対象とするプロジェクト 4」 の数値「1」~「4」に対応しています。

| コロル向ノレビューモート | | | | - OK |
|-----------------|----------|---|--|-----------------|
| | ☑ 縮尺をセット | 1 / 1000 | | A キャンセル |
| | | | | الاباري 🔞 |
| 印刷対象とするプロジェクト―― | | 整飾プロジ | 」 」 クト | |
| 対象とするプロジェクト(主) | | 対応する | 図郭レイヤー(前景レイヤ | ⁷ -) |
| 2画面印刷 | | ✓ <u></u> : | 整飾 | • |
| 対象とするプロジェクト1 | | 対応する | 図郭レイヤー | |
| 旧台帳図 | | <u>₩</u> | | • |
| 縮尺連動 🗸 🗸 | 1: 2 | | | - |
| 対象とするプロジェクト2 | | 対応する | 図郭レイヤー | |
| 台帳図 | | <u>7</u> | @台帳図 | • |
| 縮尺固定 🗸 🗸 | 1: 2500 | | | - |
| 対象とするブロジェクト3 | | 対応する | 「図館しイヤー | |
| | | ~ [4] | の旧台帳図 | |
| 同縮尺連動 ~ | 1: 0 | | | |
| 対象とするプロジェクト4 | | 対応する | 図館レイヤー | |
| | | × 100 9 0 | | |
| 同縮尺連動 ~ | 1: 0 | | eld le | 1 |
| | | | | |
| 2.95 | | | | |
| 28 | | ł | | |
| 28 | 2匯 | 東田市刷 | | |
| 285 | 2@ | | FFU(| |
| | 20 | | | |
| | 2@ | | | |
| 88 | 2₫ | | | |
| | 20 | | | |
| | 2@ | | | |
| | 2@ | | | |
| | 21 | | | |
| | 20 | | | |
| | 21 | | | |
| | 20 | | | |
| | 20 | | | |
| | 2 | | 2,500 | |
| | 20 | T面印刷 | 2,500 | |
| | 20 | TOD (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) | 2,500 | |

右図面(対象とするプロジェクト2)に%CURRENT_SCALEDenomi2%を設定

それぞれ縮尺連動、縮尺固定の値に従った縮尺が表記されていることも確認できます。

3.印刷

2 画面状態で印刷します。

- 1. 「2 画面印刷」プロジェクト(メッシュ.pcm)を開き、印刷するメッシュポリゴンを選択します。
- 2. [印刷]-[矩形ポリゴン指定による連続印刷]メニューを実行します。

| 矩形ポリゴン指定による連続印刷 | | × |
|---|------------------------|---------------|
| 参照する矩形ポリゴンレイヤー | | 🔒 閉じる |
| @PrintMesh | - | |
| □ 違択ポリゴンのみ印刷 □ ユニオン(あれば)単位で | | 9 7007 |
| 使用する印刷設定 設定 >> | | 🔽 実行 |
| 現在の印刷設定 | \sim | ד לעצים |
| ✓整飾プロジェクトの差込DBをこのポリゴンの内部属性DBと置き換える | | |
| 短形ポリゴンサイズ等から印刷方向自動調整 ~ (短形でな | <)任意のポリゴン領域 | 或を印刷する |
| □印刷枠に合わせて縦横比を調整する □印刷設定での縮尺で印刷する | ポリゴン属性で縮尺 | を個別指定 |
| □(可能であれば)複数ページまとめて1ファイルにスプールする | 使用しない | \sim |
| | | |
| フォルダと拡張子は常に印刷設定から参照されます プリンタ出力時は"スプール名"として使用されます | 印刷順(昇順)を決 数値属性フィールド | める |
| 使用しない(印刷設定に連番を付加) く | 使用しない | \sim |
| □ (印刷するのではなく)プロジェクトとして保存 □ もとの実座標を保持する | | |
| 保存先 | | ٩ |

[矩形ポリゴン指定による連続印刷]ダイアログボックスで以下の設定を行います。

- 「選択ポリゴンのみ印刷」:ON
- 「(矩形ではなく)任意のポリゴン領域を印刷する」: OFF
- 「整飾プロジェクトの差込 DB をこのポリゴンの内部属性 DB と置き換える」: ON
- 「印刷設定での縮尺で印刷する」チェックボックス:ON
- 3. 「使用する印刷設定」の、【設定】ボタンをクリックすると、[ウィンドウズプリンター出力設定-1]ダイアログボックスが表示 されます。

| 矩形ポリゴン指定による連続 | 印刷 | | × |
|------------------------|----------------|---|-------|
| 参照する矩形ポリゴンレイヤー | - | | 🐧 閉じる |
| Servine Contemporation | | • | |
| 🗹 選択ポリゴンのみ印刷 | □ ユニオン(あれば)単位で | | |
| 使用する印刷設定 | 設定 >> | | 1 実行 |

【プリンター選択、設定】ボタンをクリックして、[仮想ビットマッププリンター]を選択します。[仮想ビットマッププリンターの 設定]ダイアログボックスで、仮想の用紙サイズを横 420、縦 298、解像度 300 と設定し、【OK】ボタンをクリックします。

[ウィンドウズプリンター出力設定-1]の【次へ】ボタンをクリックします。

| ウインドウスプリンター出力設定-1 | X |
|--|---|
| まず、出力するプリンターを選択し、紙サイズやその他のプロパティを設定します 現在の設定 | 仮想ビットマップブリンターの設定 × |
| ガリンター Bitmap Printer (PC-Mapping) 800 DPI 印字領域 棟 420 縦 298 mm イメージにしてから印刷(の (活過モード使用時) 解像度(DP) ⑥ 高解像度 中隔像度 低解像度 木水ゴンを厳密にクリッピングして出力 | 仮想の用紙サイズ 横 420 縦 2981 |
| | 2011 横 4961 縦 3520 ピクセル 32ビットカラー(背景色を透過) |

4. [ウィンドウズプリンター印刷設定-2]ダイアログボックスで、「整飾用プロジェクトを使います」ラジオボタンを ON にして、作成した整飾プロジェクトを指定します。

| ウィンドウズプリンター出力設定-2 | × |
|---|----------|
| 次に、図郭線・図名等の整飾の設定を行います | |
| ○いいえ、整飾機能は使いません(№) | |
| ○はい、すでに設定された整飾を使います(上) | |
| | ~ |
| ○はい、すでに設定された整飾を修正して使います(<u>A</u>) | |
| ○はい、整飾を設定して使います(S) | |
| オーバーブリントの設定 >> | |
| ● 整飾用プロジェクトを使います(丁) | |
| an una companya de la | _ |
| D¥Sample¥整飾pcm | |
| 差込DB 差込に使用するレコード番号 | (1から) |
| | |
| | |
| 民る(B) 〈〈 トンオー(N) 〉〉 スペ(N) 〉〉 スペ(N) 〉 スペ(N) 〉 マー・キャンセル マー・ハルブ(H) | |

5. 【次へ】ボタンをクリックし、[ウィンドウズプリンター出力設定-3]ダイアログボックスで、縮尺を「1/1000」に設定します。 印刷サイズは、整飾プロジェクトのレイヤーのサイズ「横:170、縦:256」を入力します。 使用する印刷設定は、「用紙に対する印刷位置」を「指定なし(左上)」としてください。

| ウインドウズブリンター出力設定-3 | Х |
|---|----|
| 最後に、印刷する縮尺、印刷サイズ、印刷するデータ領域の設定を行います 現在の設定 縮尺(S) 1 / 1000 印刷サイズ 横(L) 170 縦(V) 256 mm | |
| 用紙に対する印刷位置 指定なし(左上よせ) データ印刷可能最大サイズ 170.00 256.00 mm | |
| データ全域が出力されるように縮尺調整(A) | |
| データ全域が出力されるようにサイズ調整(乙) | İ. |
| | İ. |
| | |

6. 【次へ】ボタンをクリックすると、[矩形ポリゴン指定による印刷設定]ダイアログボックスに戻りますので、【実行】ボタン をクリックすると、設定した内容で、連続印刷を実行します。

■印刷イメージ

この画面は【プレビュー】ボタンで表示できます。



この例では、紙のサイズを420×297とし、仮想ビットマッププリンターの「420×297」サイズに出力するという設定を行って います。実際のプリンターの出力範囲を考慮して印刷枠を作成してください。

この例では、2画面印刷を例としていますが、最大4つまでの印刷設定が行えますので、下図のような印刷も行えます。

